

大阪府教育センター  
平成21年度小学校「キャリア教育指導者養成」研修  
平成21年度中学校「キャリア教育指導者養成」研修  
平成21年度高等学校「キャリア教育指導者養成」研修  
第4・5回

# キャリア教育の現代的課題

## 今なぜキャリア教育が求められているのか？

2009.8.12



南大阪地域大学コンソーシアム  
統括コーディネータ 難波美都里



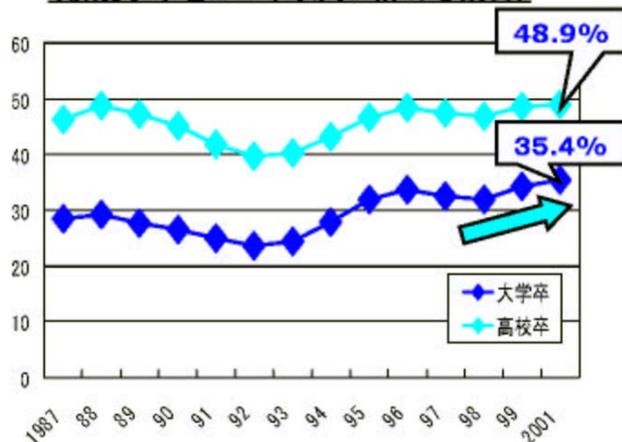
# 研修の流れ

1. 社会で起きている環境の変化
2. 子どもたちへの社会的期待
3. 社会から求められる基礎的能力(ワーク)
4. 教育現場として何ができるか？  
ワークショップ
5. 今注目されるキャリア教育の現代的課題

# 社会現象として起きていること

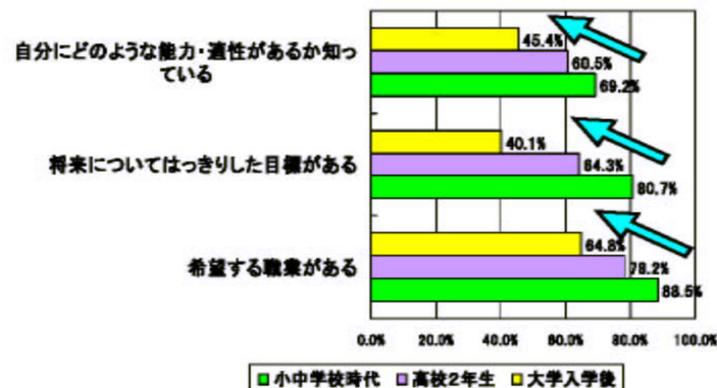
近年のニート、フリーターの増加や若者の早期離職の加速など、産業界にとっても、「学校から職場への移行(School to Work)」が大きな問題へと発展

(新規学卒者が3年以内に辞める割合)



(出典)厚生労働省「職業安定局業務統計」より作成

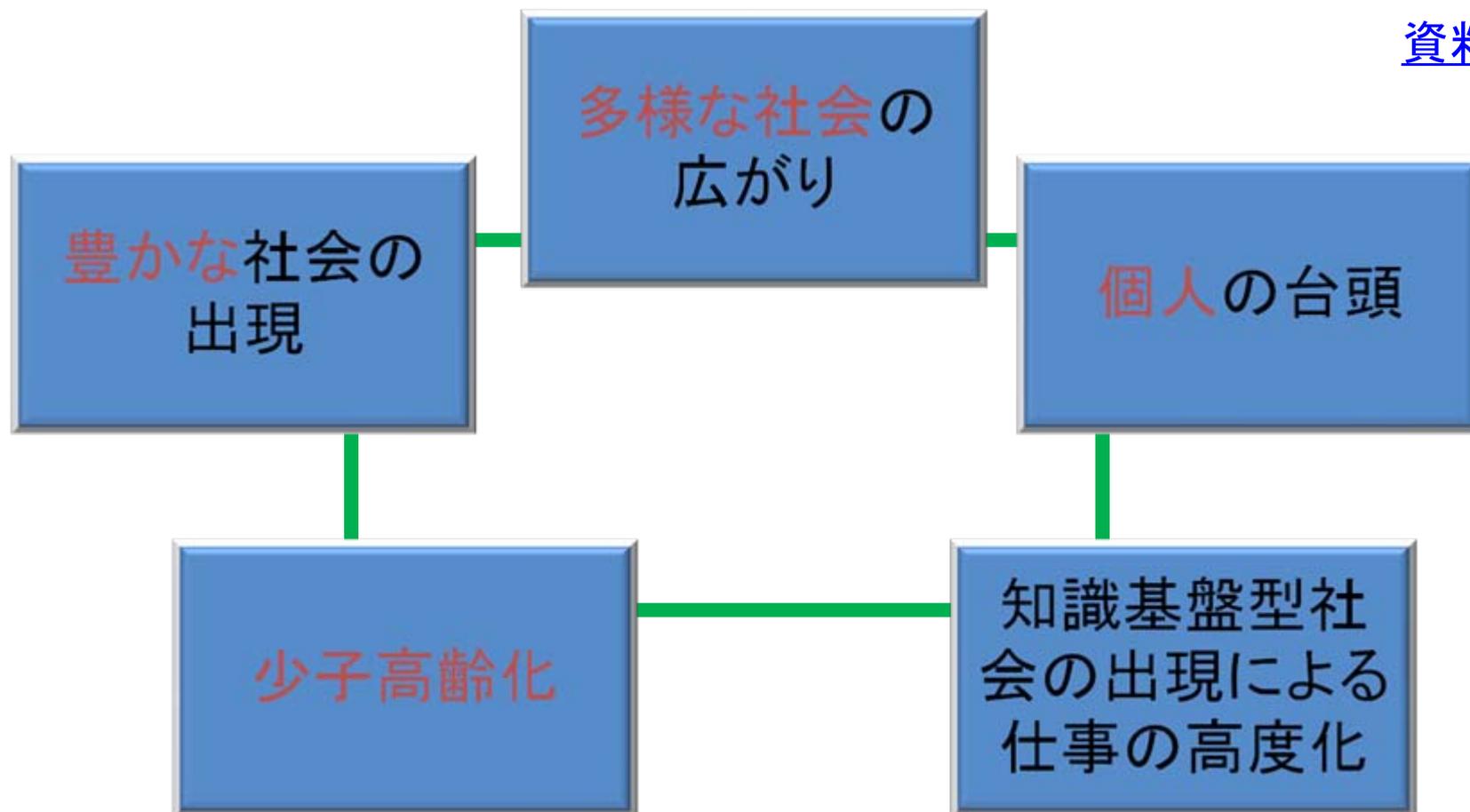
(職場や社会が近づくにつれて目標を見失う傾向)



(出典)ベネッセコーポレーション「進路選択に関する振り返り調査」(2005)

# 社会的背景

[資料](#)



# 社会的要請

活用力

即戦力

探究力

1人ひとりの**能力向上**が  
社会から期待されている！

実践的スキル

課題解決力

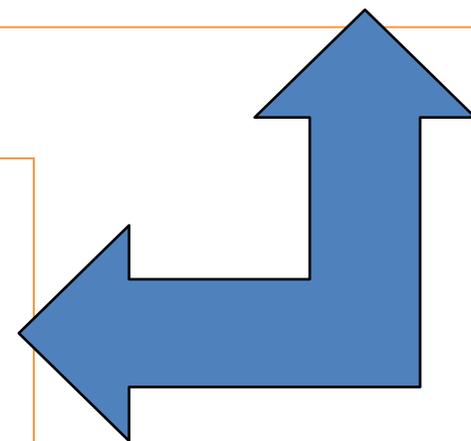
子どもたちは…

1人ひとりが社会から**期待**されている！



にもかかわらず…

- ・期待に応えるだけの**自信**がない
- ・何を**すべき**か見い出せない



## 内閣府

### ○文部科学省

#### 生きる力

- ・キャリア教育:「自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」
- ・勤労観、職業観を育てる教育
- ・ふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育

### ○経済産業省

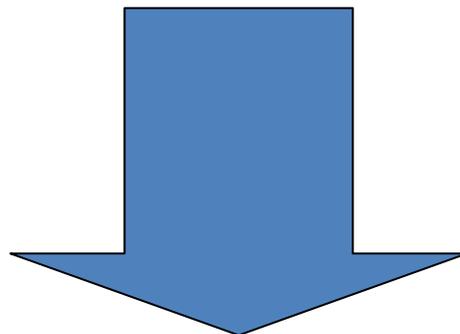
#### 働くことの面白さ

- ・働くことの意義・面白さを知る
- ・真に実社会で活かすことのできる内容のキャリア教育

### ○厚生労働省

#### 人間力

- ・職業観、勤労観の醸成
- ・職業体験学習をカリキュラムに的確に位置づける
- ・問題発見・課題解決能力など、産業で求められる能力を考慮したカリキュラムの実施
- ・基礎学力、社会常識、職業生活に必要な基礎的知識の付与



キャリア教育が注目！！

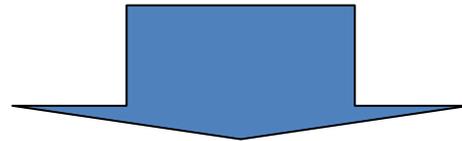


考えてみましょう！

教育現場として  
何ができるか？

社会から求められている  
**基礎的能力**って何？

それらを身につけるために  
有効なプログラムってどんなもの？



学校で行っていることから  
抽出してみよう！

## 考えてみましょう！ 教育現場として何ができるか？

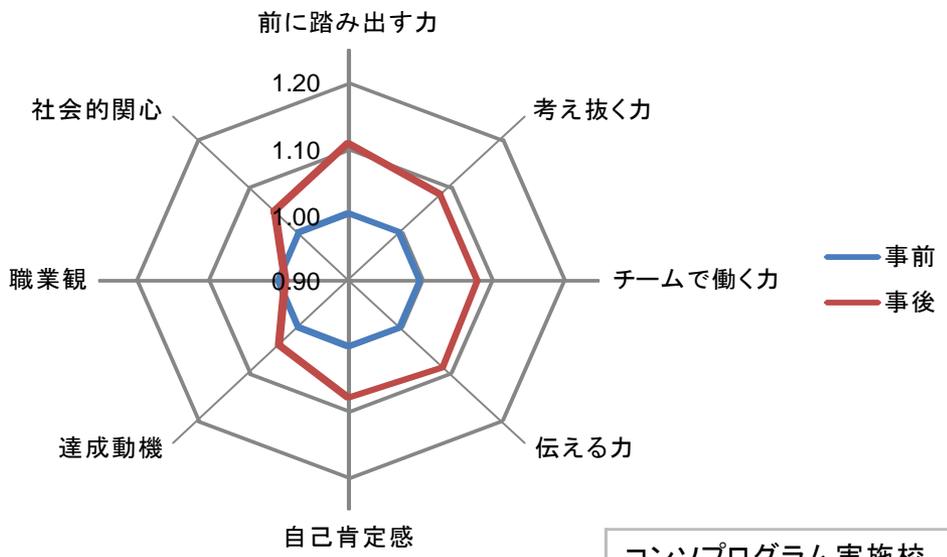
実際に学校で行っていることから抽出してみよう！



# トヨタが求めている基礎的能力

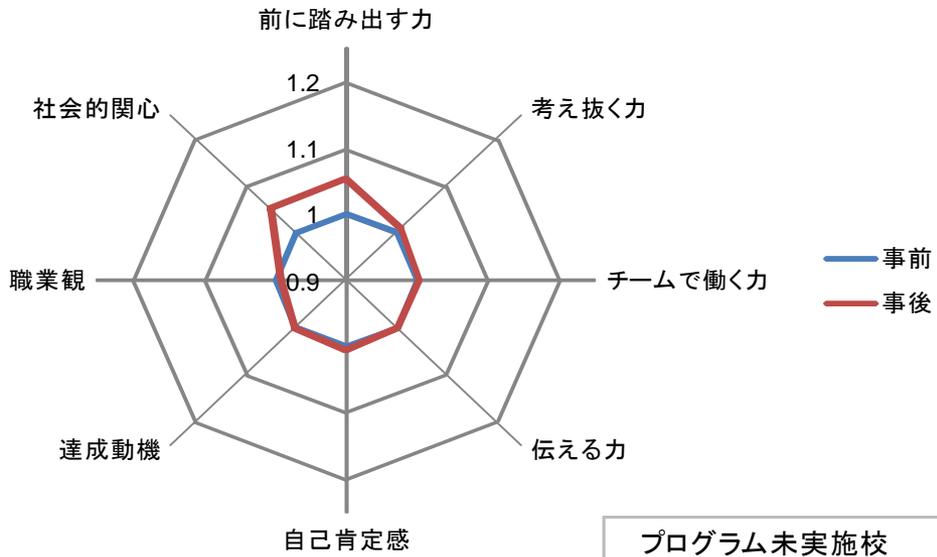
1. 自ら考え実行する力
  - ・ 数理的思考力
  - ・ 言語技術とその土台となる漢字力
2. 習慣化された挑戦行動
3. 社会に対する感謝の気持ち
4. 協調しながら競争する経験
5. 基礎学力

# コンソキャリア教育実施校



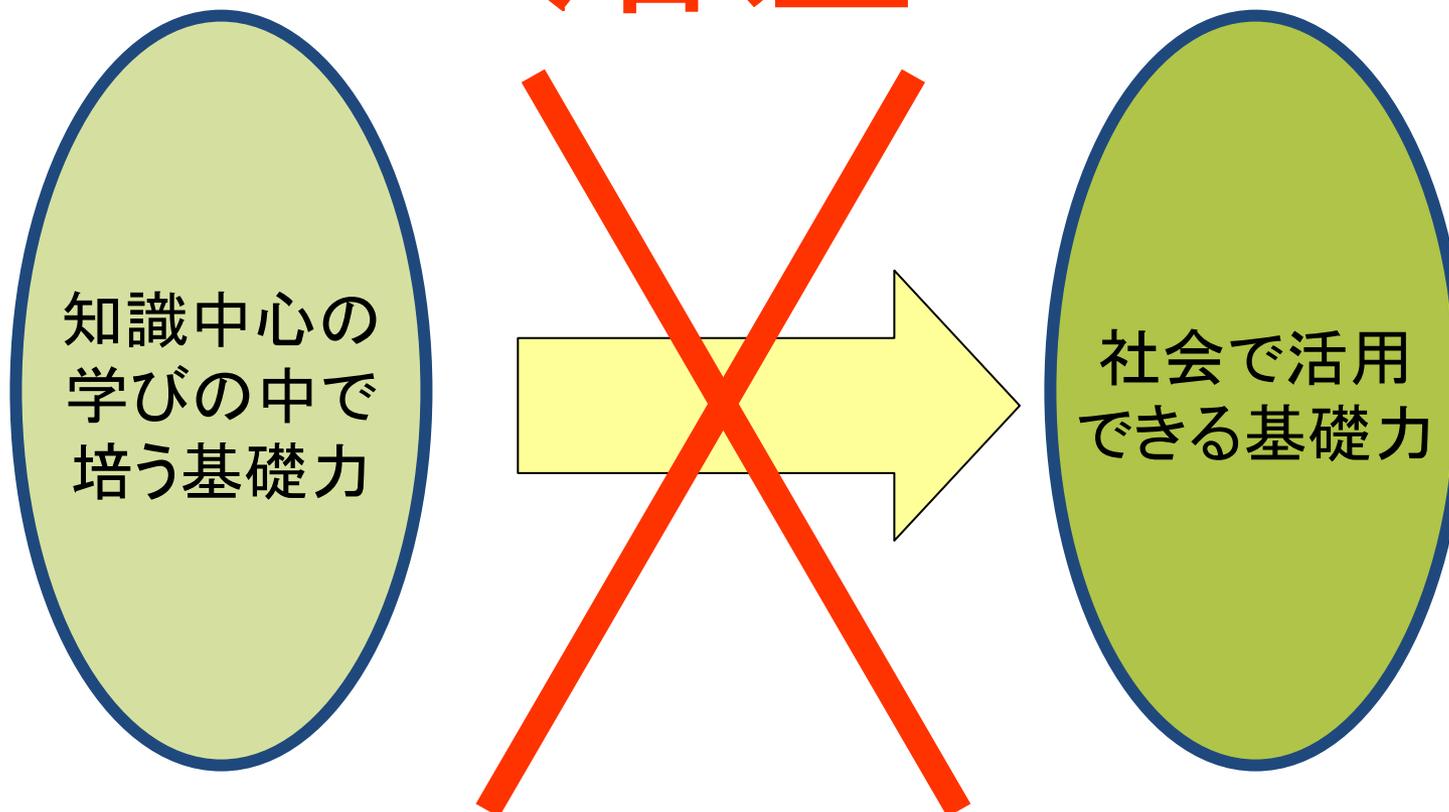
コンソプログラム実施校

# コンソキャリア教育未実施校



プログラム未実施校

# 落差





「学校から職場への移行 (School to Work)」

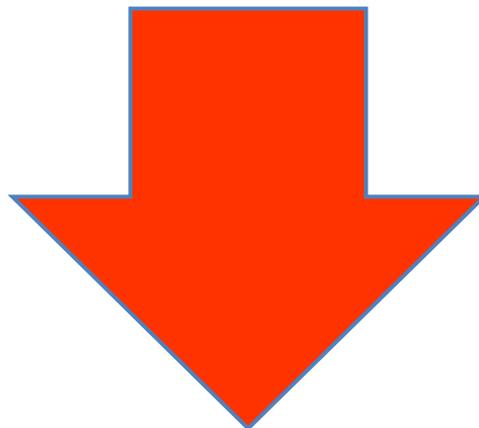
が大きな問題へと発展

ニート

フリーター

閉じこもり

根っこにある問題は、  
本当のところ何だろうか？



教育現場では、落差を埋めようとして..

職業観、勤労観の育成

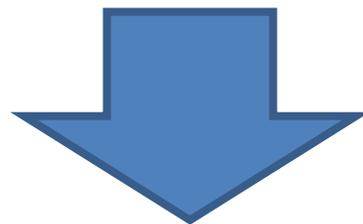


職場体験学習

しかし、働くことを所与とした職業観・勤労観の育成をいう前に、考えなければいけないことがある

豊かな社会では、  
働かなくても食べていける  
人や社会が出現

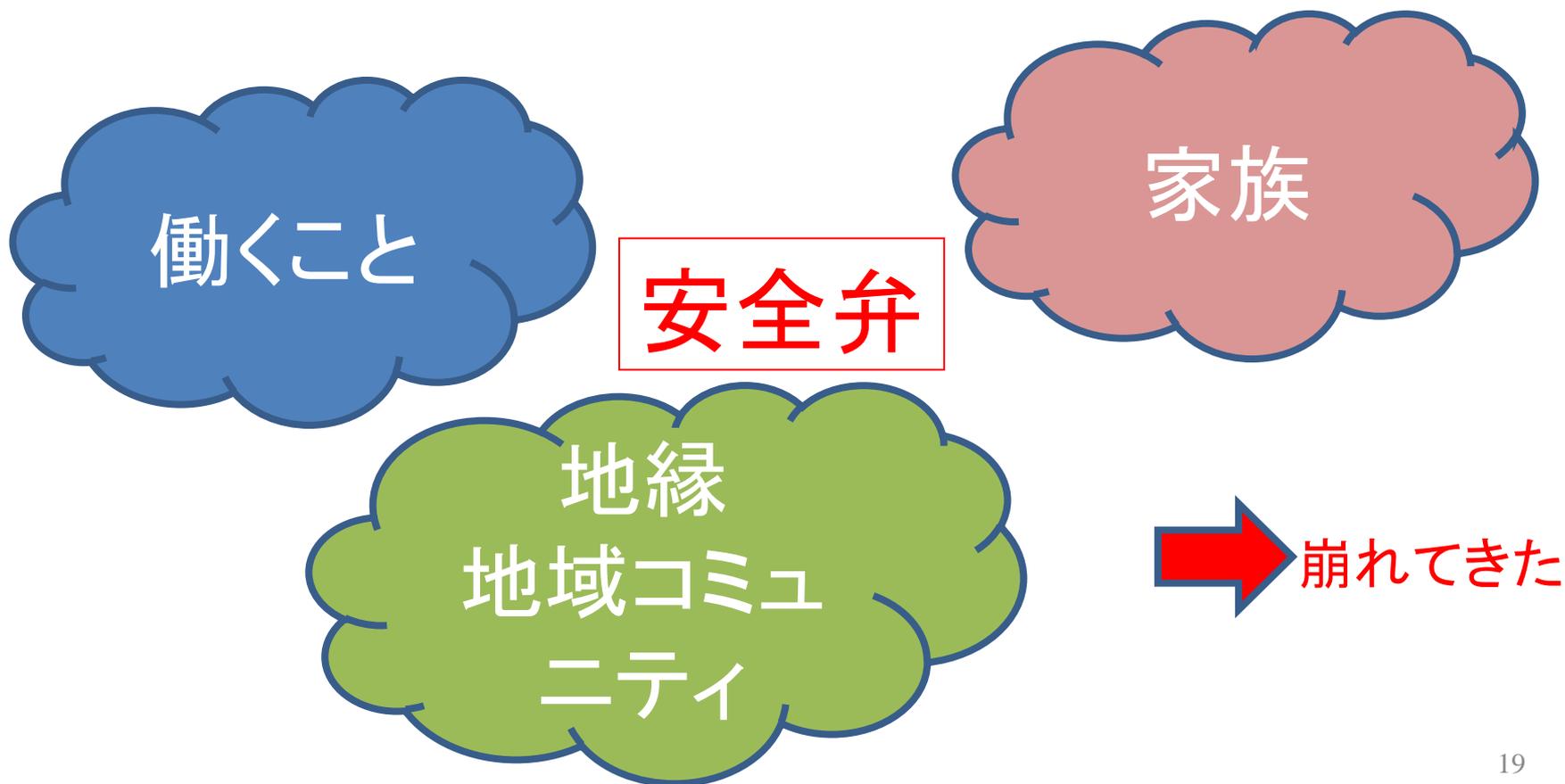
働くことが当たり前でなくなった社会で  
は、どう考えればいいのか？

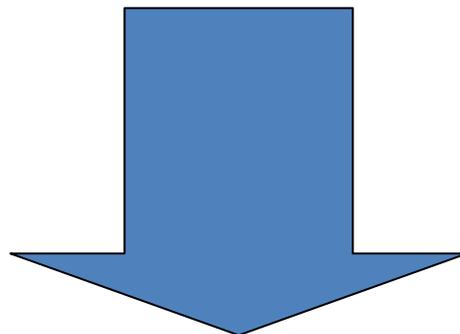


POINT1

「働くこと」の意味を教えなければいけな  
い社会になった

そもそも「働くこと」は、  
個人と社会とをつなぐ安全弁の1つ  
として機能





個人に判断  
基準が委ね  
られる社会

社会の一員として、一人ひとりの  
「**個人**（**個人の規範**）」が  
改めて問われている

## 個人の規範

1. **社会の一員**であることを知ること
2. **社会の一員**であることに責任を感じることに
3. 一人の**個人**として、それらを実行できること
4. その結果として、一人の**個人**として力強く生きること



POINT2



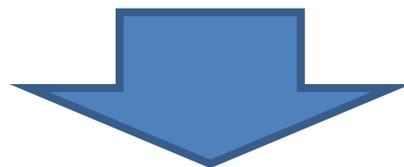
「社会の一員であること」の意味を  
教えなければいけない社会になった

POINT1

働くことの意味を知る

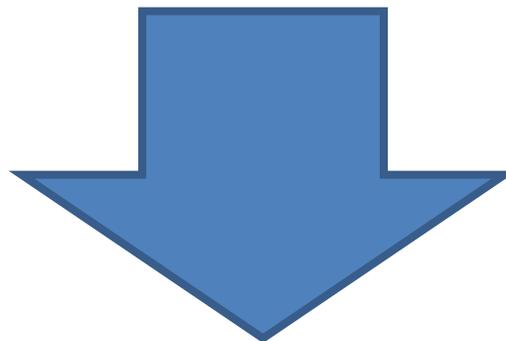
POINT2

社会の一員であることの意味を知る



社会<sup>や</sup>他者<sup>や</sup>まわり  
に対して関心をもつ

社会の一員として「私」は何ができるのか？  
を自らに問い・実行すること



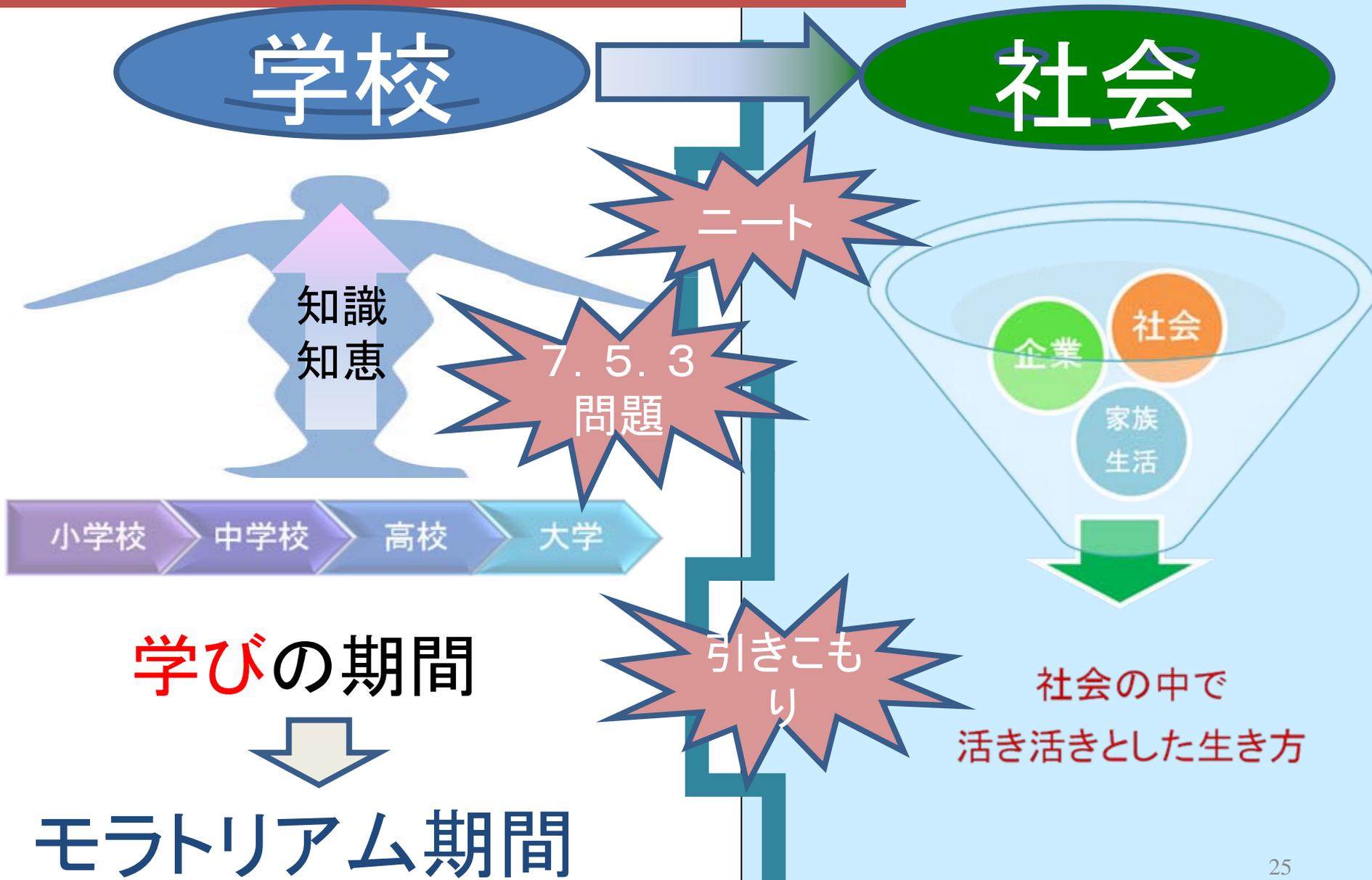
キャリア教育の現代的課題  
がそこにある



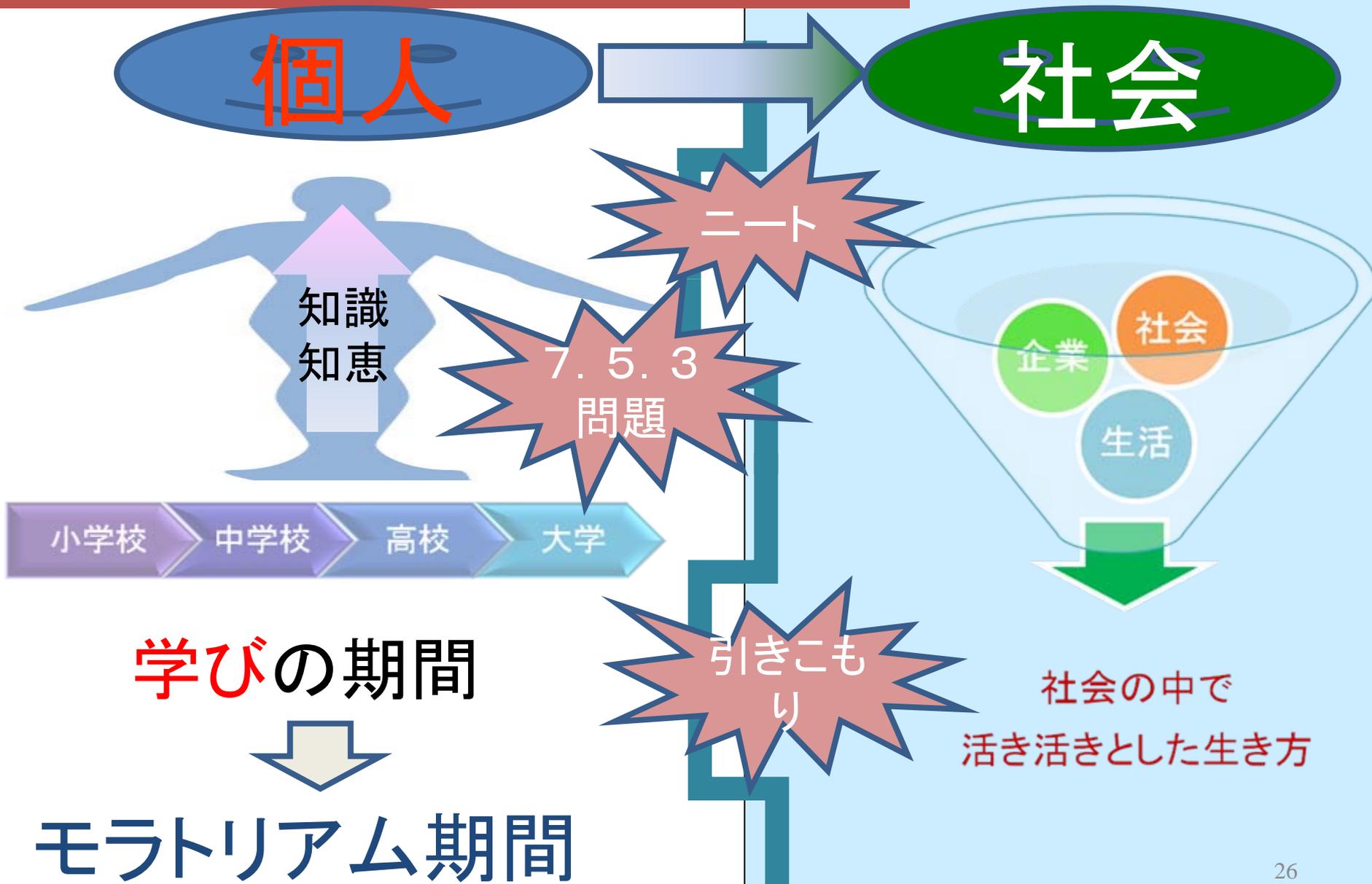
学校から職場への移行  
(School to Work)」が大きな  
問題へと発展する中での

キャリア教育って何？

# キャリア教育の現代的課題 学校と社会をスムーズにつなげること



# キャリア教育の現代的課題とは 学校と社会をスムーズにつなげること



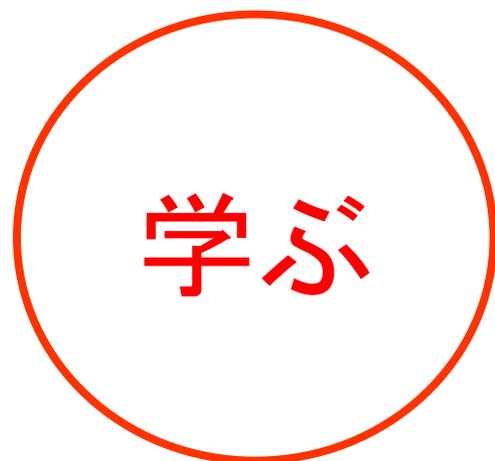
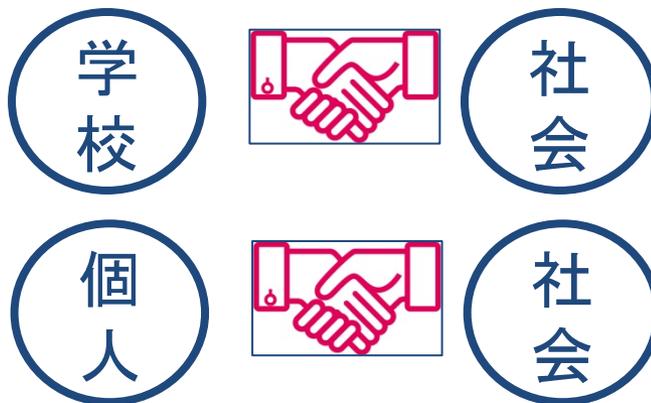
## キャリア教育の現代的課題

「学校」と「社会」をスムーズにつなげること



「個人」と「社会」をつなぐこと

じゃ、何でつなげた方がいいの？



## つなぎ方を学ぶ



社会でこんな  
ことが求めら  
れている！

だから

こんなことがや  
りたい！

だから

こんなことがで  
きたらステキ！

だから

学ぶ！

# 学んだ知識を 「社会」で活かそう！

「働くこと」を通じて

だったら

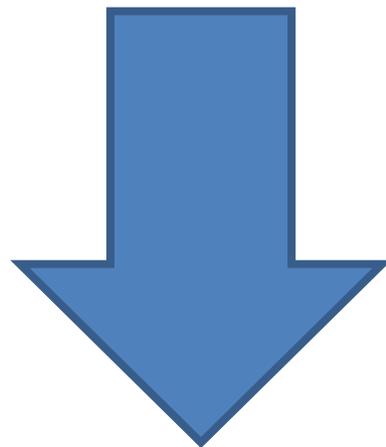
こんな知識が  
ある！

だったら

こんなことがや  
りたい！

だったら

こんな社会に  
なったらいい！



実現する手段として  
「働くこと」を再度見直す



# そのために必要なスキルとして

社会人基礎力

夢を描く力

社会や他者  
への関心＝  
想像力

思考リテラシー

できる！心  
Yes, I can!

などなど・・・



その**スキル**があることで

自信をもってとり  
くむ！

チャレンジできる！

想像力が働く！

実現できる！

夢を形にで  
きる！

などなど・・・

キャリア教育実践を通じて



社会とのつながりを意識



働くことの意味を理解



学ぶ意欲・態度につながり、  
結果的に**学力向上**にもつながる

そして、なぜか  
学力差が出にくい



心にスイッチが入る



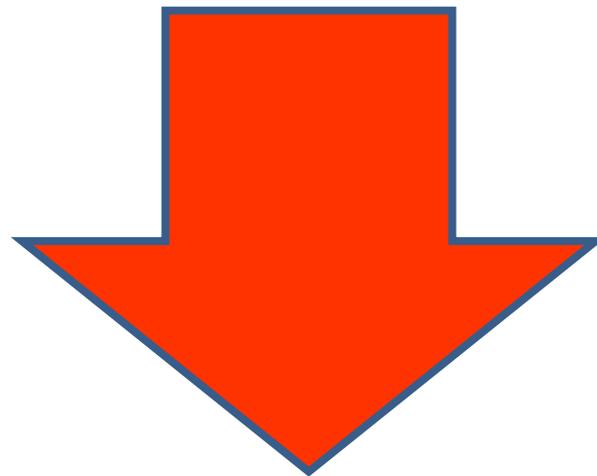
子どもが勝手に動き出す



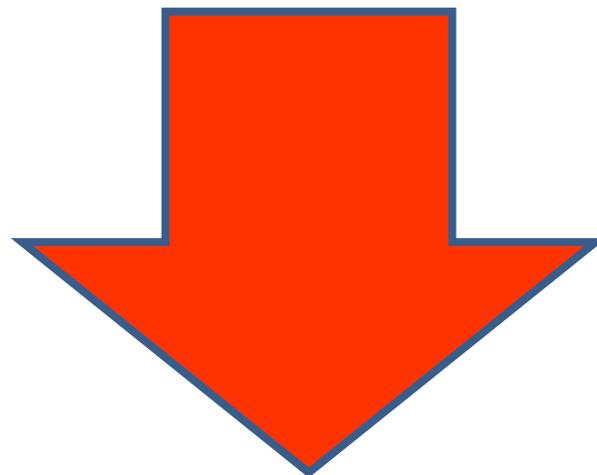
自ら考え、行動する子どもの誕生！



学力向上にもつながる！



働くことを考えることは、  
実は、何のために学ぶのかを考  
えることにつながっている！！



キャリア教育を行うことの  
現代的意味がここにある！！